

# 教育・子育て支援の拡充と 高齢者・障がい者福祉の充実を 安全・安心のまちづくり

愛 野々上 愛 市長 平成27年度は都市  
信之 森本 裕也 機能の実態把握や地域別の  
※は発言者

## 立地適正化計画の策定 各分野で連携を

議員 人口減少が進む中、立地適正化計画の策定は重要です。計画策定の現状と今後のスケジュールを伺います。

また、計画策定に当たっては福祉、介護、医療、子育て支援など他の分野との連携が必要だと思いますが、

見解を伺います。

市長 平成27年度は都市機能の実態把握や地域別の人口予測等を行いました。28年度は拠点となる区域の設定や誘導すべき都市機能等の検討を行い、パブリックコメントを経て、計画を策定した上で、都市機能誘導区域を設定する予定です。また、居住誘導区域については、30年度に設定する予定です。



## 市独自の学力調査 目的及び活用方法は

議員 現在、小、中学校では、国や大阪府が行う学力調査のほか、各校が独自に作成したテスト等を実施しています。今回、本市独自に小学校5・6年生に学力調査を行うとのことですが、目的と活用について伺います。

市長 市が実施する学力調査の目的は、国や府と同様に児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学習指導や教育施策の成果と課題を検証

その改善を図ることを目的としています。それに加え、学習でつまづく児童が増加する傾向にある小学校5・6年生の学力を、よりきめ細かく把握することを狙いとしています。小学校5年生から中学校1年生までの時期は、発達段階の特徴から極めて重要であり、本調査を活用することで、学習指導を更に充実させ、中学校との円滑な接続をより一層図っていきます。

## 人権・男女共同参画推進 今後の事業展開は

議員 先日、国連の女子差別撤廃委員会にNGOの一員として参加しましたが、各国選出の委員からの問いに対する政府の答弁で、日本が女性政策に具体的に取組んでおらず、むしろ遅れていることが国際会議の場でも明らかとなったことは残念でした。そこで、本市では、人権・男女共同参画推進について、多くの市民に見える形で進められる

ことが重要と思いますが、どのように事業展開されるのか伺います。

市長 男女共同参画計画に基づき、女性職員・教員の登用や多様なニーズに対応する子育て環境の整備を進めていきます。また、ライフステージに応じた健康対策などを実施するとともに、DV相談体制の充実や被害者の保護及び自立支援などの具体的な施策を進めていきます。

## 竹の内・番田方面への 市営バス運行開始は

議員 市営バスでは利用者の利便性向上と実態把握のため、各種乗車券を順次ICカードへ移行することですが、高齢者無料乗車証も同様にICカード化すべきと思いますが、見解を伺います。

また、空白地域であった竹の内・番田方面への運行開始に向けた取り組みを伺います。

市長 高齢者無料乗車証